

学校関係者評価

サミットアカデミーエレメンタリースクール佐久
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価委員会

(1) 開催日時: 2025年1月29日

(2) 参加者

① サミットアカデミーエレメンタリースクール佐久

校長 イチカワドイルウォルター、副校長 依田彰、教頭 宮澤智子、教務主任 石掛元気

② 保護者 3名

③ 学校評議員 4名

(3) 当日の進行

自己評価委員会による自己評価をもとに学校関係者より学校評価の意見を述べ合った。

2. 2024年度学校評価

(1) 学習指導

① 英語について

小学校段階から英語を学ぶ授業の充実がはかられていることがわかった。英語は多国間を理解するスキルである。

② 探究的な学習について

行事やサミットデー、日々の学習から他者と協働的に学んでいることがわかった。今後、キャリア教育の一つとして、チームで学習する中でマネジメント的視点も有しながら学習をすすめてほしい。

③ その他

日々の学習の中で挑戦することと失敗することに積極的で寛大であってほしい。

(2) 生徒指導

探究的な学習を通して、異学年交流を含むグループを形成し、児童同士のつながりがさらにできるような仕組みづくりを大切にしていってほしい。

(3) 保護者連携および地域連携

① 保護者連携

Classiを活用して、学級の活動についての配信が充実していた。一方で、学校全体としての発信が少なかった。他学年が何をしていたのか、さらに知る機会があるとよい。

② 地域連携

長聖ブランドからさらにサミットブランドとなっていくことを期待している。地域との意見交換の場などを設け、小中高の12年間を見据えた教育活動の成果を楽しみにしている。地域の学びの拠点であるとともに働き場所の拠点であってほしい。働くスタッフが笑顔で組織としての仕組みが充実していくことを期待している。